

平成 27 年国勢調査 分析レポート vol.1

団塊世代の特性について

マップマーケティング株式会社
GIS グループ
2016 年 11 月



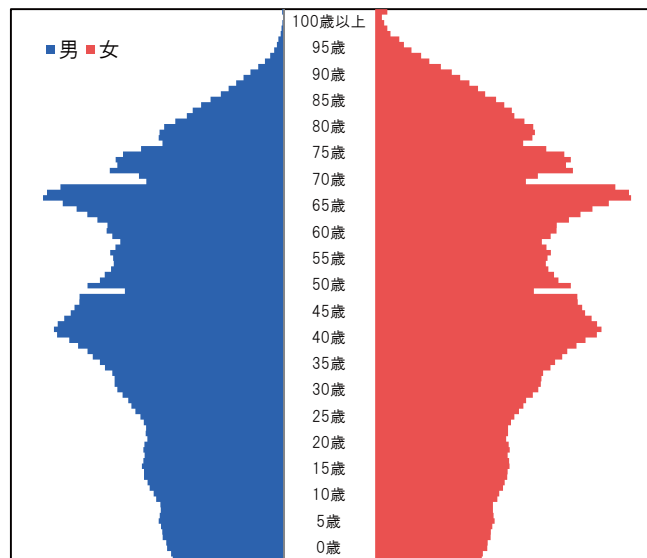
2015 年国勢調査の確定値発表

昨年実施された 2015 年国勢調査について、10 月末に市区町村レベルでの人口・世帯データの確定値が発表されました。それを受けて、6 回にわたり最新の国勢調査データについて触れていきます。

2015 年国勢調査の結果としては、調査開始来はじめて人口が減少した事が大きく取り上げられ、その要因の一つとして、「高齢化」の進行が挙げられています。「高齢化」については巷間的话题になる事も多々ありますが、今回は中でも特徴的な「団塊の世代」に焦点を当ててみたいと思います。

「団塊の世代」とは

「団塊」とは、本来その文字の通り「かたまり」を意味しますが、「団塊の世代」という言葉は、堺屋太一氏著作の短編小説集のタイトルとして使われたのが最初とされています。氏は、1947 年（昭和 22 年）から 1949 年（昭和 24 年）生まれの人口が突出して多く、ひとつの「かたまり」を成している事から、「団塊の世代」と名付けたようです。「団塊の世代」は今回の国勢調査時点で 65 歳から 68 歳ですが、下の人口ピラミッドからも分かるように、全員が「高齢者」であるにもかかわらず、未だ他の世代の人口よりも多くなっています。



2015 年国勢調査に基づく人口ピラミッド

「団塊の世代」形成の背景

「団塊の世代」が形成された背景には、以下の社会的な理由が挙げられています。

①第二次世界大戦：

⇒青年・壮年期の男性が出征してしまったため、「団塊の世代」直前の人口は極端に少ない（先の人口ピラミッド参照）。さらに、上記の男性は、戦争からの帰還後に結婚するケースが多く、ベビーブームを迎えた。

②避妊や中絶の合法化：

⇒刑事罰の対象であった避妊や中絶が 1949 年以降に合法化された事により、それ以降、出生率が徐々に低下。その影響を受け、「団塊の世代」以降の人口が減少傾向に。

「団塊の世代」の有名な人

人口が多い事も手伝い、「団塊の世代」の有名な人も以下に示す通りバラエティに富んでいます。

①1947 年生まれ：

・北野たけし（1月18日生）

コメディアン・映画監督

言わずと知れた「世界のキタノ」

・島耕作（9月9日生）

TECOT 代取会長

日本一有名なサラリーマン

現在はミャンマーでの日本酒づくりにチャレンジ中

②1948 年生まれ：

・五木ひろし（3月14日生）

歌手 紅白歌合戦出場回数は歴代 3 位

・ジャンレノ（7月30日生）

俳優 フランス人

欧米でもこの時期はベビーブーム

③1949 年生まれ：

・柳井正（2月7日生）

ファーストリテイリング代取会長兼社長

日本屈指の資産家

・ガッツ石松（11月29日生）

元ボクシング世界チャンピオン・タレント

「ガッツポーズの生みの親」との都市伝説も

「団塊の世代」の現状

話が横道に逸れてしまいましたが、2015 年国勢調査の結果をもとに「団塊の世代」の現状を確認していきます。

下表は 2015 年国勢調査での日本全国の「団塊の世代」の人口と人口総数に対する比率を示しています。ただし、国勢調査では生年での人口集計は実施していませんので、機械的な推計を行っています。

	男女合計		男		女	
	人口	対人口 総数比率	人口	対人口 総数比率	人口	対人口 総数比率
1949年生	2,137,400	1.7%	1,036,998	1.7%	1,100,402	1.7%
1948年生	2,163,155	1.7%	1,045,684	1.7%	1,117,470	1.7%
1947年生	2,067,537	1.6%	997,437	1.6%	1,070,100	1.6%
合計	6,368,092	5.0%	3,080,120	5.0%	3,287,972	5.0%

※「団塊の世代」人口の集計方法

国勢調査は 2015 年 10 月 1 日時点で情報を集計していますので、

・1949 年生：65 歳人口の 1/4+66 歳人口の 3/4

・1948 年生：66 歳人口の 1/4+67 歳人口の 3/4

・1947 年生：67 歳人口の 1/4+68 歳人口の 3/4

として計算しています。

(以下、同様)

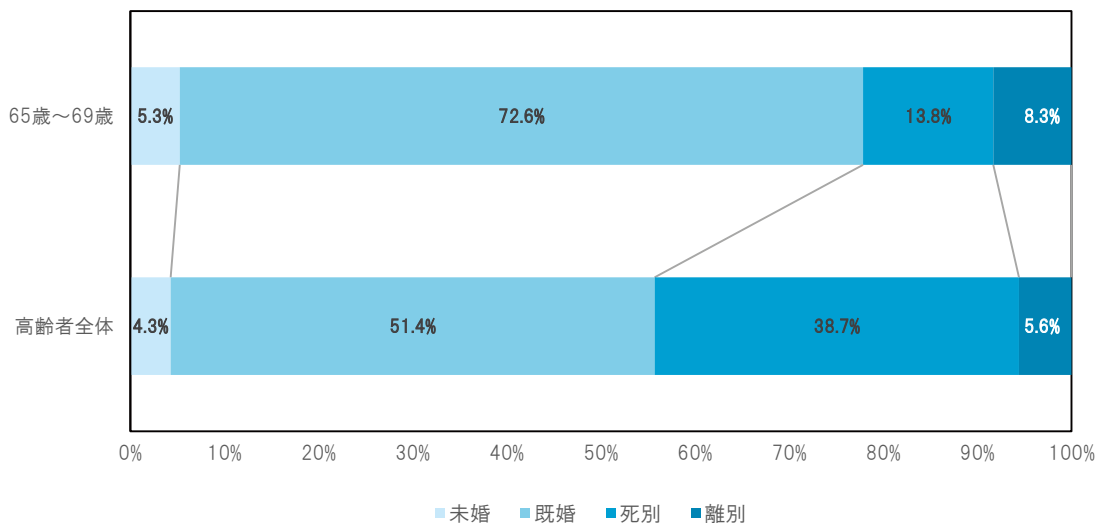
2015 年国勢調査での「団塊の世代」推計人口

「団塊の世代」は男女合計で約 640 万人、人口総数の 5%を占めています。これは、小学生（7 歳～12 歳）人口とほぼ同水準にあります。また、各年の人口は 200 万人を超えていますが、0 歳人口が約 95 万である事を鑑みると、ボリュームゾーンとしての「団塊の世代」の重要性がうかがわれ、多くの企業などが「団塊の世代」をターゲットとした商品やサービスを開発・市場投入している事も納得できます。

高齢者としての「団塊の世代」

今回の国勢調査時点においては、全ての「団塊の世代」が65歳以上の高齢者となっていますが、今回発表された、年齢別での配偶関係と世帯類型に関するデータから「団塊の世代」と他の高齢者全体の違いを確認してみます。なお、この項では、便宜上、「65歳～69歳」を「団塊の世代」と見做しています。

まず、配偶関係の構成比についてですが、相対的に年齢が若い事も有り「既婚」の比率が70%以上を占めています。また、高齢者全体では40%近くに達する配偶者との「死別」は、「団塊の世代」では1割強にとどまっており、夫婦単位での生活が基本となっているようです。



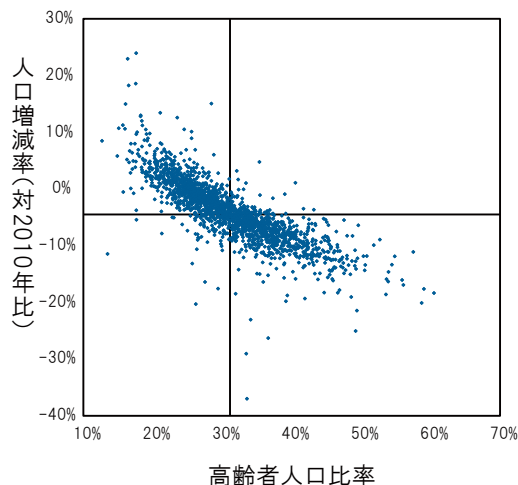
2015年国勢調査における年齢別の配偶関係の構成比

次に、世帯タイプの構成比についてですが、前述の通り既婚者の比率が高い事も有り、高齢者全体よりも「単独世帯」の比率はやや低くなっています。一方、「夫婦のみ世帯」と「夫婦と子供世帯」の合計で約60%に達し、特に、「夫婦と子供世帯」の比率は「団塊の世代」の方が5ポイント以上も高く、いまだ一家の中心的存在である事がうかがわれ、「団塊の世代」のアクティブなイメージが浮かび上がってきます。

	単独世帯	夫婦のみ	夫婦と子供	男親と子供	女親と子供	夫婦と両親	夫婦とひとり親	夫婦・子供と両親
65歳～69歳	11.6%	29.0%	28.4%	1.5%	5.9%	0.7%	3.6%	4.8%
高齢者全体	14.7%	31.1%	22.7%	2.0%	6.9%	1.2%	2.2%	6.4%
	夫婦・子供とひとり親	夫婦と他の親族	夫婦・子供と他の親族	夫婦・親と他の親族	夫婦・子供・親と他の親族	兄弟姉妹のみ	その他	非親族を含む
65歳～69歳	4.4%	0.5%	3.0%	0.4%	3.1%	0.8%	1.7%	0.7%
高齢者全体	3.3%	0.7%	3.1%	0.7%	1.9%	0.6%	2.1%	0.6%

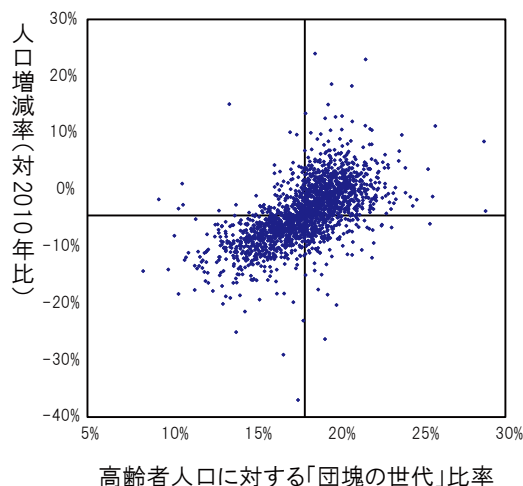
2015年国勢調査における年齢別の世帯タイプの構成比

さらに、高齢者と「団塊の世代」の関係について、異なる観点から確認してみます。下のグラフは各市区町村の2010年からの人口増減率と高齢者の人口比率をプロットしたものとなっています。高齢者人口比率が高い市区町村ほど、人口の減少率も高い傾向にあります。いわゆる「過疎・高齢化」がグラフからも見て取ることができます。



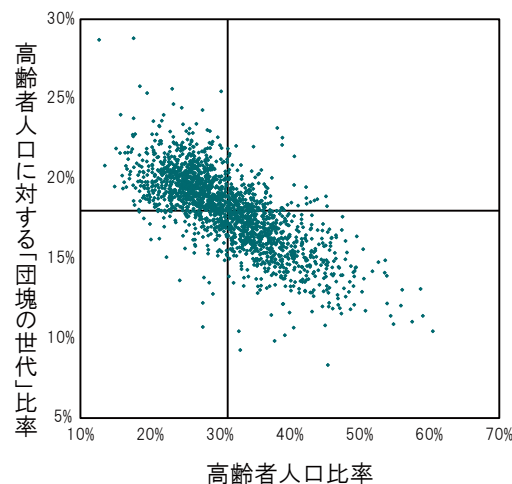
2015年国勢調査における市区町村別の人口増減率（対2010年比）と高齢者人口比率の関係

次のグラフは各市区町村の2010年からの人口増減率と高齢者人口に対する「団塊の世代」比率をプロットしたのとなっています。先のグラフとは異なり、高齢者人口に対する「団塊の世代」比率が高い市区町村では、人口の増加率も高い傾向にあります。



2015年国勢調査における市区町村別の人口増減率（対2010年比）と高齢者人口に対する「団塊の世代」比率の関係

以上、二つのグラフから高齢者人口に対する「団塊の世代」比率が高い市区町村ほど高齢者人口比率が低いとの理屈が成り立ちますが、下のグラフはその事を証明しています。「団塊の世代」の絶対的なボリュームを考えると不思議な印象を受けますが、「団塊の世代」のユニークさを物語っているとも言え、「団塊の世代」を年齢のみで高齢者として捉える事は、マーケティングの観点からは疑問符がつく結果となっています。



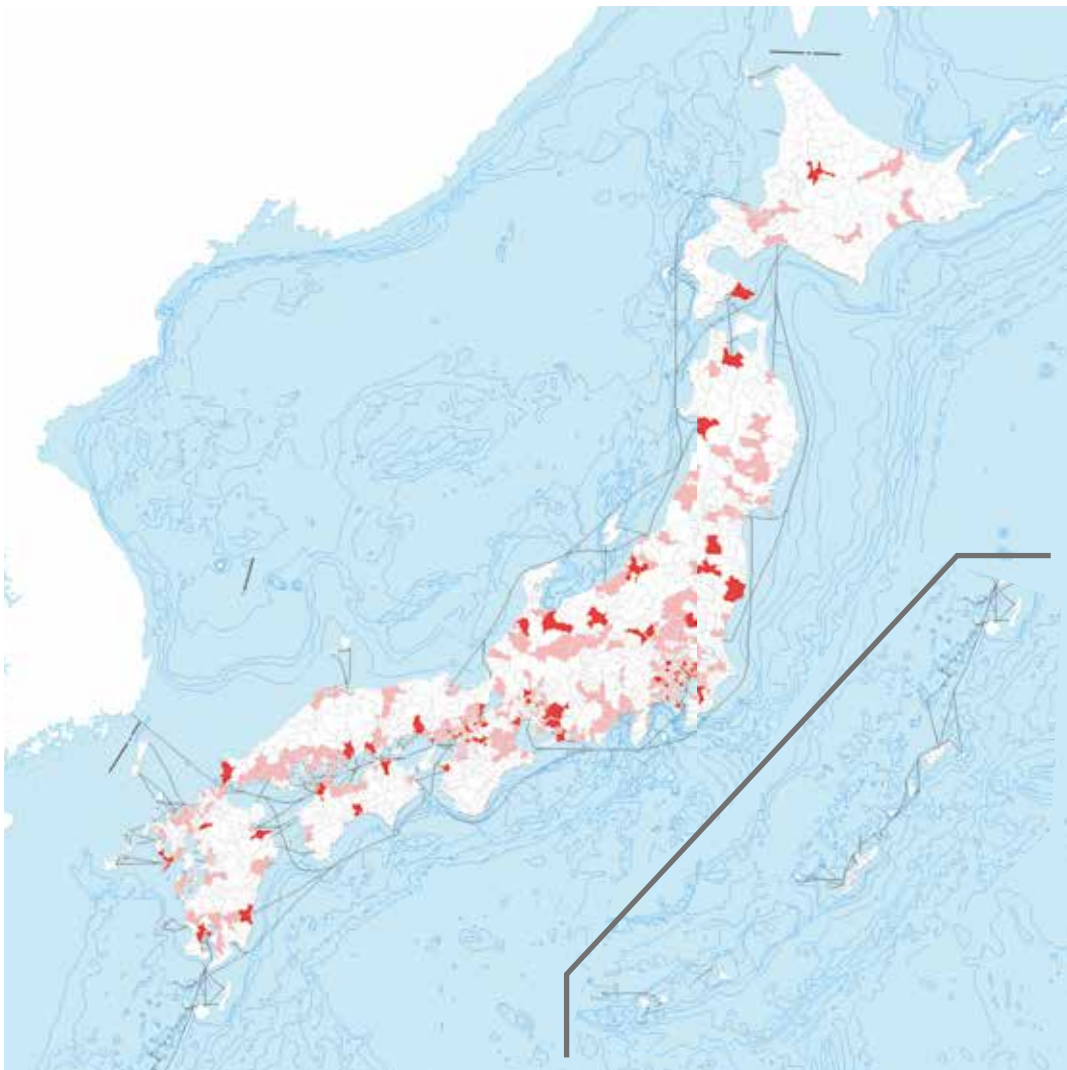
2015年国勢調査における高齢者人口に対する「団塊の世代」比率と高齢者人口比率の関係

市区町村別の「団塊の世代」

せっかく、市区町村別の国勢調査データが発表になりましたので、最後に市区町村別の「団塊の世代」の状況について確認してみます。はじめに、市区町村別での「団塊の世代」人口ランキングですが、予想通り、東京都をはじめとする首都圏や県庁所在地等の都市部が上位を占めています。

順位	市区町村	団塊の世代 人口(人)	順位	市区町村	団塊の世代 人口(人)
1	東京都世田谷区	34,406	11	埼玉県川口市	25,629
2	東京都大田区	30,677	12	愛媛県松山市	25,178
3	東京都足立区	29,764	13	東京都板橋区	24,221
4	鹿児島県鹿児島市	28,032	14	栃木県宇都宮市	24,208
5	東京都練馬区	27,784	15	千葉県松戸市	24,034
6	千葉県船橋市	27,613	16	大分県大分市	23,950
7	東京都八王子市	27,608	17	広島県福山市	23,947
8	兵庫県姫路市	26,933	18	石川県金沢市	23,883
9	東京都江戸川区	26,610	19	岡山県倉敷市	23,721
10	大阪府東大阪市	26,610	20	兵庫県尼崎市	23,654

2015年国勢調査における「団塊の世代」人口ランキング

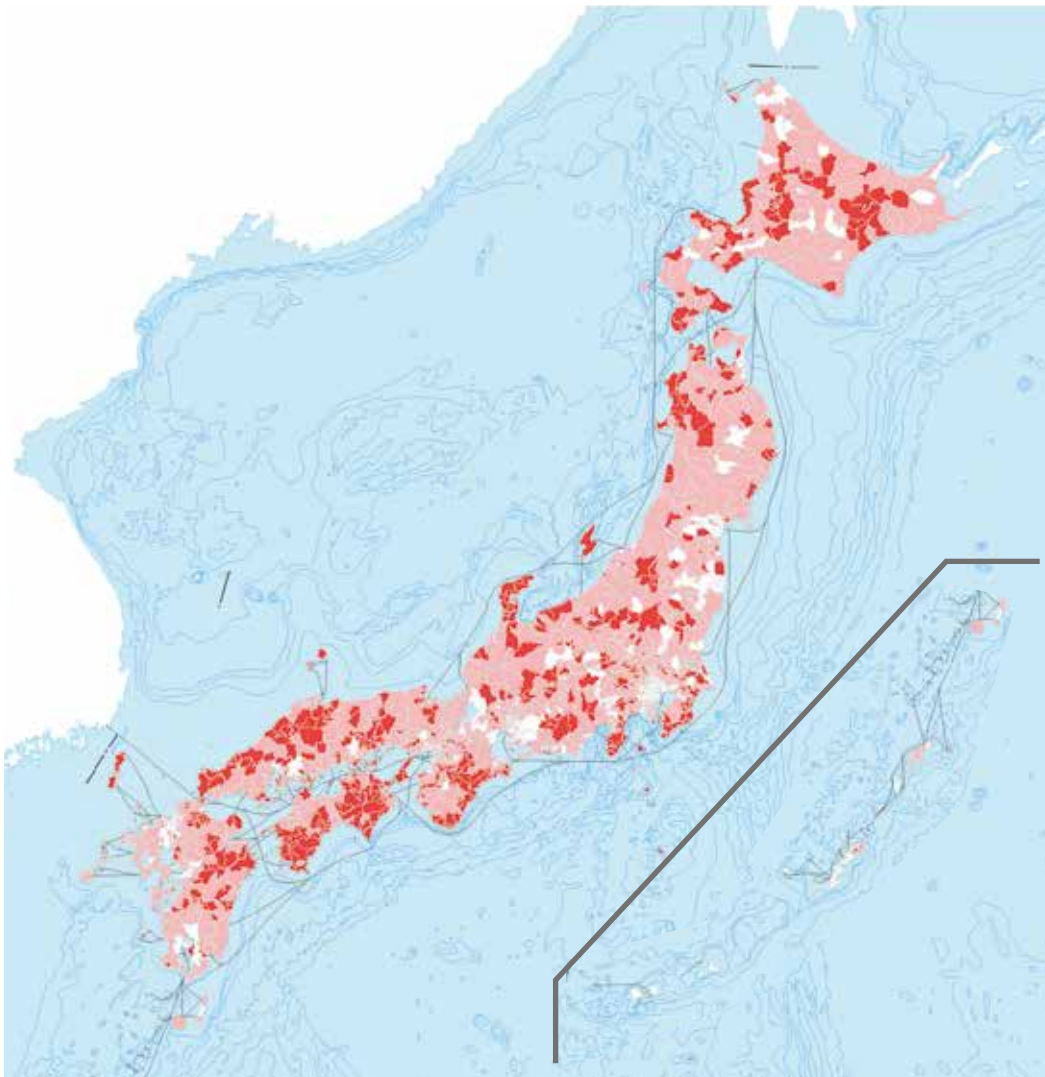


市区町村別の「団塊の世代」

次に、市区町村別での人口総数に対する「団塊の世代」比率ランキングですが、都市部よりも郡部が上位に位置する傾向が見られます。

順位	市区町村	人口総数に対する団塊の世代比率	順位	市区町村	人口総数に対する団塊の世代比率
1	茨城県利根町	8.86%	11	千葉県鋸南町	8.12%
2	埼玉県鳩山町	8.79%	12	山口県上関町	7.99%
3	大阪府千早赤阪村	8.70%	13	静岡県西伊豆町	7.97%
4	大阪府豊能町	8.60%	14	和歌山県串本町	7.97%
5	山梨県小菅村	8.54%	15	京都府和束町	7.96%
6	千葉県御宿町	8.38%	16	静岡県東伊豆町	7.96%
7	高知県室戸市	8.29%	17	青森県今別町	7.87%
8	奈良県山添村	8.25%	18	愛媛県上島町	7.82%
9	静岡県南伊豆町	8.22%	19	和歌山県古座川町	7.78%
10	島根県知夫村	8.13%	20	徳島県牟岐町	7.72%

2015年国勢調査における人口総数に対する「団塊の世代」比率ランキング

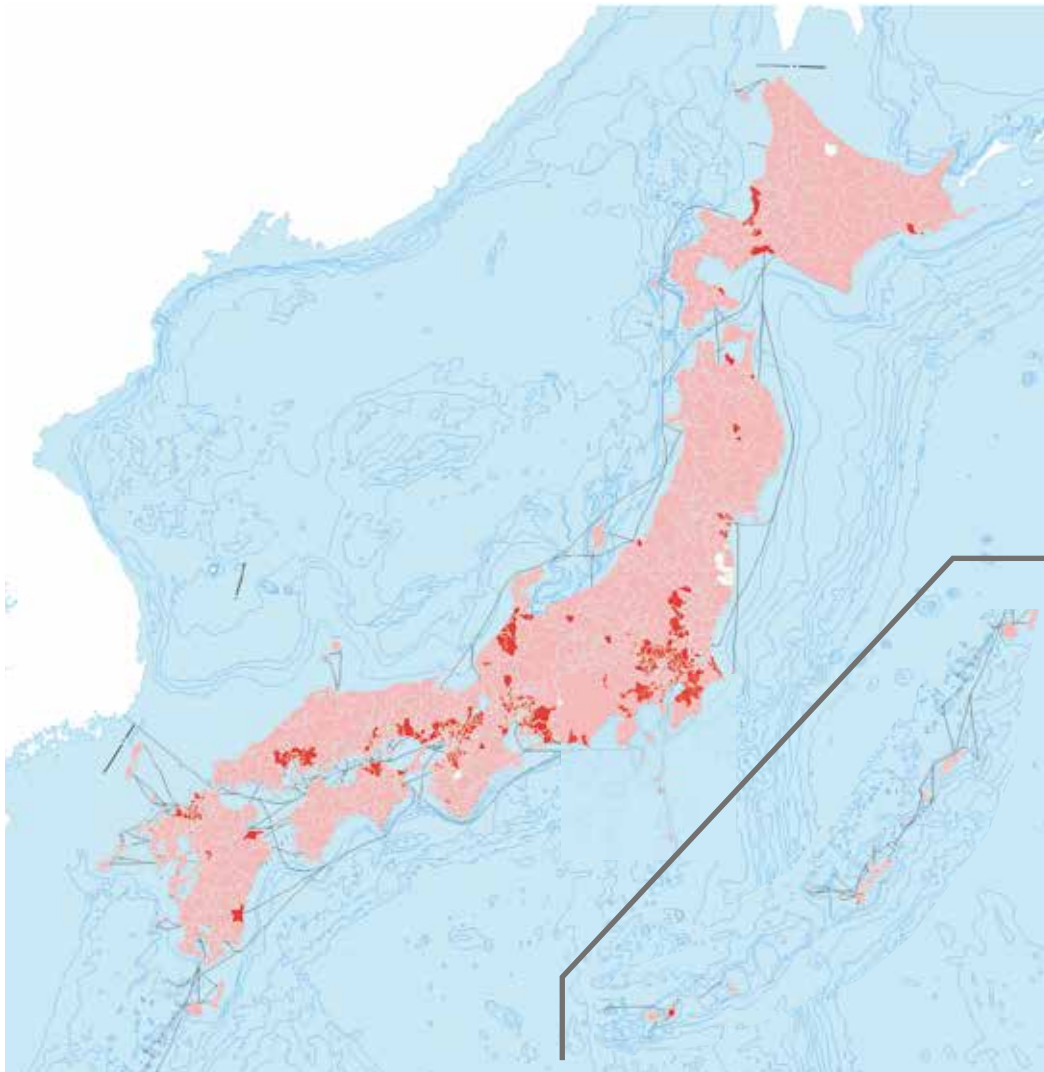


市区町村別の「団塊の世代」

そして、市区町村別での高齢者人口に対する「団塊の世代」比率ランキングですが、島しょ部が上位 4 位までを占めている点が特徴的です。

順位	市区町村	高齢者人口に対する団塊の世代比率	順位	市区町村	高齢者人口に対する団塊の世代比率
1	東京都御蔵島村	28.81%	11	徳島県藍住町	24.02%
2	東京都小笠原村	28.72%	12	宮城県富谷町	23.80%
3	沖縄県与那国町	25.81%	13	埼玉県吉川市	23.65%
4	東京都利島村	25.64%	14	千葉県印西市	23.62%
5	千葉県栄町	25.48%	15	栃木県野木町	23.45%
6	茨城県守谷市	25.37%	16	埼玉県鶴ヶ島市	23.42%
7	福岡県宇美町	24.69%	17	群馬県玉村町	23.33%
8	千葉県富里市	24.46%	18	滋賀県湖南市	23.29%
9	三重県東員町	24.31%	19	茨城県利根町	23.19%
10	千葉県浦安市	24.02%	20	千葉県八街市	23.16%

2015 年国勢調査における高齢者人口に対する「団塊の世代」比率ランキング



今回は市区町村という広範なエリアで、かつ、限定的な国勢調査データ項目によって「団塊の世代」を特徴づけてきましたが、より詳細なエリア（町丁目）やより多くのデータ項目を用いる事で、さらに「団塊の世代」を深く知る事が出来ると思われます。当社では、来春に 2015 年国勢調査データへの更新を予定していますので、この機会に取り組まれてはいかがでしょうか？

お問い合わせ先

03-6455-0478

FAX. 03-6455-0479

マップマーケティング株式会社

GIS グループ 営業部

メールアドレス info@mapmarketing.co.jp

**Map
Marketing**

マップマーケティング株式会社

お問い合わせ先

03-6455-0478

FAX. 03-6455-0479

マップマーケティング株式会社

GISグループ 営業部

メールアドレス info@mapmarketing.co.jp

**Map
Marketing**

マップマーケティング株式会社